

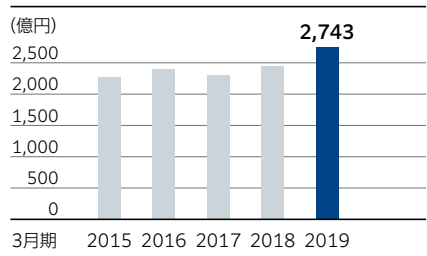
財務・非財務ハイライト

太陽誘電株式会社及び連結子会社・関連会社
3月31日に終了した各事業年度及び3月31日現在

価値創造ストーリー

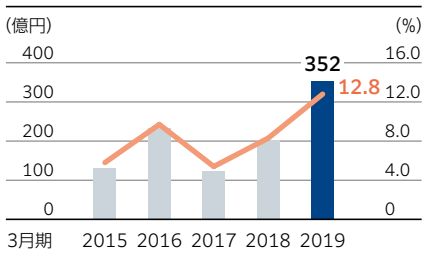
[財務]

売上高 **2,743** 億円
前期比 12.4% up 



主力製品であるコンデンサの売上がすべての用途で増加。中でも、自動車向けがけん引役となり、過去最高を更新しています。

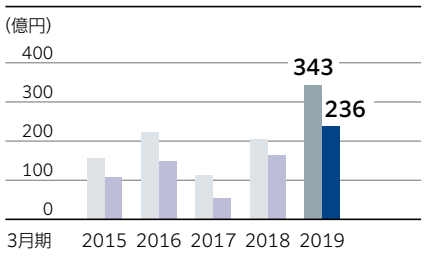
営業利益 **352** 億円
74.3% up 



■ 営業利益 (左軸)
■ 営業利益率 (右軸)

注力している自動車、情報インフラ・産業機器向けの売上拡大や生産効率改善の取り組みなどにより、利益額、利益率が向上しています。

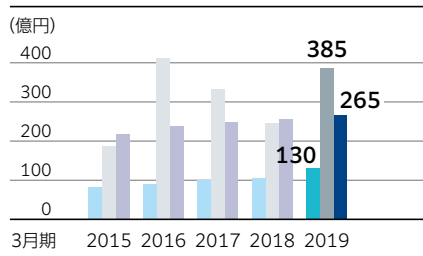
経常利益 **343** 億円
67.1% up 



■ 経常利益
■ 親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益の増減トレンドと一致しています。親会社株主に帰属する当期純利益は、過去最高を更新しました。

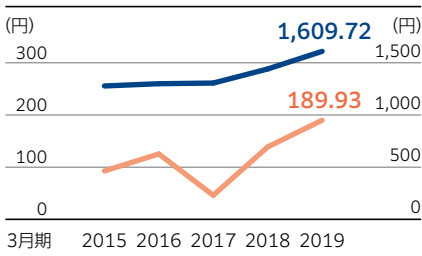
研究開発費 **130** 億円
23.3% up 



■ 研究開発費
■ 設備投資額
■ 減価償却費

5G時代の到来を目前にしており、さらに、自動車向けなどの需要も増加していることから積極的な設備投資を継続しています。また、新事業・新商品開発を活発化する研究開発投資を拡大しています。

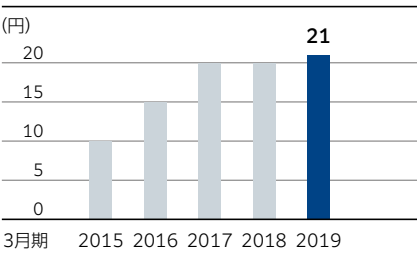
1株当たり純資産 (BPS) **1,609.72** 円



■ BPS (右軸)
■ EPS (左軸)

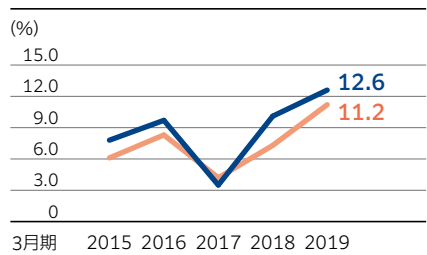
親会社株主に帰属する当期純利益、純資産ともに増加傾向にあることから、BPS、EPSともに増加トレンドとなっています。

1株当たり配当金 **21** 円



経営理念の一つに「株主に対する配当責任」を掲げており、配当金と自己株式の取得等を含めた総還元性向30%の実現を目標としています。2019年3月期は1株あたり期末配当金を1円増配し、中間配当金と合わせて21円の配当としました。

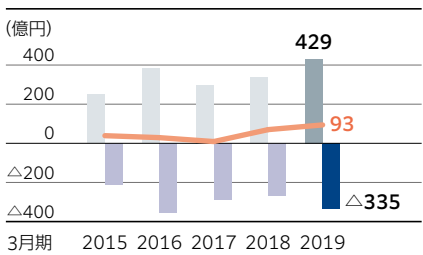
自己資本当期純利益率 (ROE) **12.6** %
2.5pt up 



■ ROE
■ ROA

2021年3月期までにROE10%以上を目指す中期計画を立てており、自動車、情報インフラ・産業機器などの注力すべき市場での拡大と生産性改善活動で収益性向上を図っています。

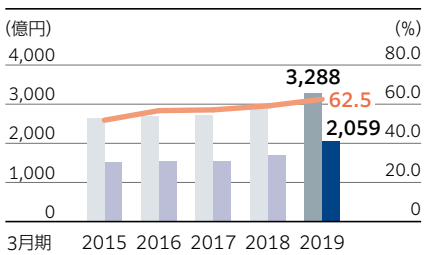
営業活動によるキャッシュ・フロー **429** 億円



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー
■ フリー・キャッシュ・フロー

利益水準の向上により営業CFは増加傾向にあります。設備投資によって固定資産取得による支出が増え、投資CFの支出も続いていますが、フリーCFは増加傾向です。

総資産 **3,288** 億円
14.5% up 

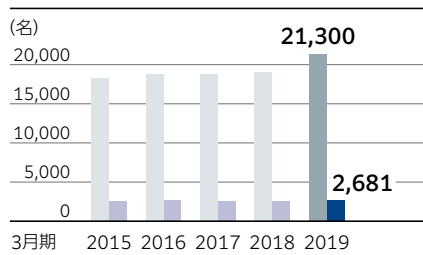


■ 総資産 (左軸)
■ 純資産 (左軸)
■ 自己資本比率 (右軸)

旺盛な需要の下、規模の拡大が続き、総資産が増加しています。一方で有利子負債の増加抑制を継続した結果、自己資本比率は60%台になりました。

[非財務]

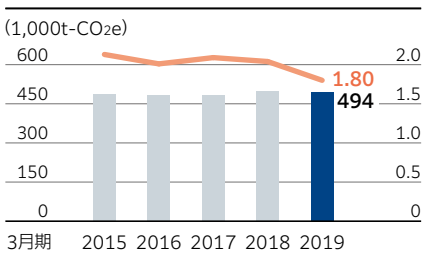
従業員数 (連結) **21,300** 名
12.0% up 



■ 従業員数 (連結)
■ 従業員数 (単体)

生産能力を増強しているため、従業員数を増加させています。2019年3月期は、エルナー社を子会社化したことで大幅な人員増となりました。

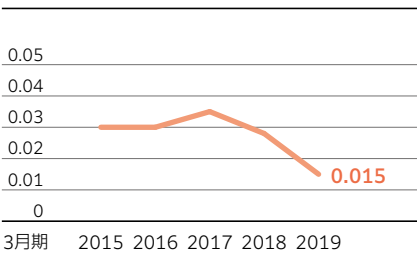
温室効果ガス (GHG) 排出量 **494** 1,000t-CO₂e
0.6% down 



■ 温室効果ガス (GHG) 排出量 (左軸)
■ GHG排出 (売上高原単位) (右軸)

GHG排出量は横ばいの傾向です。ただし、主力製品を中心とした生産工程の見直しによって一層生産効率を向上させることで、売上高原単位は改善傾向にあります。

傷病率 **0.015**
0.013pt down 



全職場でリスクアセスメントを行い労働災害発生・労働疾病発生の対策を進めており、中期目標の傷病率0.040未満を継続することができました。